

少林寺拳法

NO. 1

1982. 5. 14

大阪高校
少林寺拳法部

徹貫志初!

新入生
が絶々と
入部して、
います。
5月13日
現在27名、
うち23名
が正式登
録済みで
す。手続
きまだの
人は早速
に済ませ
て下さい。
新入部
員は以下
の通り。

- 一・A 寺内、豊永、松田、重久
 - 一・O 砂井、岡田、北川、中川、多田
 - 一・E 佐藤、桑原、早見、浜本、江口
 - 一・F 城島、酒井、島田、杉本
 - 一・I 小野、志賀
 - 一・L 小川、長谷
 - 一・M 栗栖
 - 一・N 江口、石川、金村、久米、の諸君
- クラブ顧問としては、新入生が数多く入部してくることは、とても嬉しいこととです。と共に反面、隅々

スケジュール

5月16日(日) 大阪府高校少林寺拳法連盟主催(13校)

合同練習・桃山高校(地下鉄昭和町)にて、午後一時～

6月6日(日) 大阪府高校少林寺拳法大会、大阪産大高校にて。

8月1日(日) 全日本高校少林寺拳法大会、広島県立体育館にて。

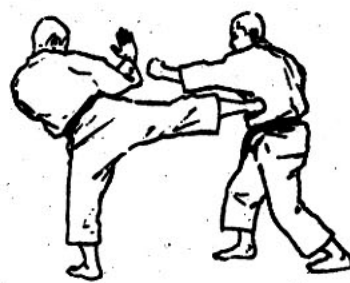
8月3日～6日 全日本高校少林寺拳法部 合同合宿、香川県多度津町、穂本山少林寺練成道場にて、約25名



まで目が届くだろうかと、という心配も起こってきます。大高の運動部は、上級生が賑張りちらして下級生をめぐって使う、しごきもあるといった昔風の悪しき伝統は、一掃されて久しいです。少林寺の上級生も安心できる先輩ばかりですが、単車やパーマに心ひかれ、友人達と遅くまで遊び呆けるという風になつてくると、クラブ活動の熱が冷めてきます。

和やかに合同練習

5月8日(土)市立天王寺商業高校少林寺拳法部の女子拳士40名を迎え、大高40名、計80名で、和やかな中にも厳しく整然と合同練習が行われました。折しもグラウンドでは軟式野球部が北陽高校と練習試合、他クラブの生徒達の羨望の眼差の中で合同練習が始められました。一年生はまだ突き・蹴り



大高ではクラブ活動中退者のほとんどが、生活の乱れから様々な問題を起こしています。決して途中で退部せぬようがんばって下さい。
★卒業までクラブを続けよう
★初心忘るべからず

の基本的な技の繰り返しで、単調気味でしたが、女子拳士と向いあつてやや緊張の面持ち、さわやかな汗が流れていました。女子の気合に負けないうようにと、声も少しづつ大きくなっていました。
二・三年生も少々照れ気味で、仲々普段の実力(?)が発揮できていないようでした。



練習後、小人教の班に分かれてジュニアを飲みながらの歓談は一年生諸君にも好評だったようです。
天香の立花主持から、今後よろしくとのあいさつを受けて、二時間余の合同練習を終えました。今後もできるだけ教多く交流の機会を持ちたいと思います。
なお、二の合同練習は天香の監督、本郷先生、毎土曜日、大高の練習を見に駆けつけてくれる二人のOB、阪井聡司拳士(七八年卒業、西宮今津道院在籍、三段)沢良木茂拳士(今春卒、前主持、大高道院在籍、初段)そして国語科の飯田和志先生(練馬道院出身、五段)達の協力を得て成功したことを記して、感謝の意を表したいと思えます。

高次大産は優勝優合総

少林寺拳法

No. 2

1982.6.12.

大阪高校 少林寺拳法部

第四回府高校大会(6%)を

ふりかえって

大阪府高校少林寺拳法連盟の発足と同時に、連盟の年間最大の行事とも言うべき、大阪府高校少林寺拳法大会が開催された。今回は、四回目を迎えました。

第一回、福女
第二回、勝山
第三回、堺工
そして第四回は、大阪産業大学高校体育館で、4校、50名の高校生拳士と、約50名の来賓、審判員、実行委員(各校顧問)を迎えて盛大に開催されました。初夏の目映ゆ

い陽射しの中で、午前中男子段外予選、午後各部門の決勝と、熱気あふれる拳士の気合が終始、体育館に溢れました。

大阪高校からは、男子段外の部で、

辻野一浅井、前川一前田、宮崎一家門、北本一茂木、神坂一清水、石田一倉の(翼一魚田組は棄権)

六組と



男子有段の部で、武田一助川一末永の三人掛一組、団体演武へ江田、豊島、辻野、浅井、宮崎、前田、神田、北村、田中、一組がそれぞれ出場しました。

だが、残念ながら入賞することはできませんでした。しかし二年生、三年生のほぼ全員が大会に出場でき、日頃の練習の成果を、それぞれ発揮できたことを喜ぶたいと思います。

頭髪は短く。

気合は大きく。

さて、大会長・成実豊二先生(福島学園理事)の挨拶の中でも、又、審判委員長・奥村正千代先生の講評の中でも触れられていました。が、少林寺拳法の特徴の第一に、拳禅一如(拳は肉体を、禅は精神を意味し、両者の鍛練を目標とする)の語があり、また、成実先生からは多くの高校生が見失っている精神面の修養(禅)を、少林寺の拳士は目指しているとおほめの言葉を頂き、奥村先生からは、その拳士の中にさえ、禅を軽視する傾向がある。その表は、頭髪を短くし、御指插を受けました。

「少林寺と私」

大阪高校 三年 武田 信 央

自分は昔からわりと好奇心の強い方だったので、色んなものをカジってきた。そのうち武道に心をひかれ、空手を習い始め、高校に入ってまだその余韻が残っていたのか、またやろうと思い少林寺拳法部に入った。

入部した当時は、何をやってもサマにならず、毎日キツイ柔軟ばかりやらされたが、その辺は開き直っていたので何とか持ちこたえることができた。

現在自分は三年生で、黒帯をしめ、驚いたことに主将をやっている。一年生の時の事を思えばまるで冗談?だ。そしてずっと主将をやっていたのは、大人数をまとめていく事の難しさ、ものを教える難しさ、そして責任の重大さである。自分が二年生の時、前主将が悩んでいたことが、今自分にもわかってきたように思える。しかし、一度主将を預かったのだから、次の人間にバトンタッチするまでは責任をもってやりとげたいと思う。そして、もっと金剛禅の考え方を私生活に取り入れ、これからは前向きに歩んで行きたいと思う。

大高の拳士の中にも、拳士らしからぬ頭髪がありました。かばかりの減点対象となっていました。いや、大会の成績云々でなく、少林寺拳法を学ぼうとする自己の原点に立ちもどって頭髪の事を考えよう。

また、気合の面でもまだまだ大高拳士は不十分です。日頃の練習時から大きな気合を出す訓練をしよう。キビキビした動作、技の迫力すべて瞬時の力を注ぎ、気合から生まれてきます。一つの突き、一つの蹴りが真剣むもめであれば自然と気合にも力が入ります。

来年、第五回大会は、大阪高校で、という予定ですが、一、二年生の拳士は、頭髪は短かめに、気合は大きく、会場校として恥ずかしくないように練習に励もう。尚、四回大会の成績は、朝日、毎日の各紙の大阪市内版にも掲載されました。

- 府高校少林寺拳法大会(6日 大阪大会)
- 男子段外の部(01百井、中尾(大塚大)、山崎、河野(東工))
- 吉野、直井(東工)▽男子有段の部(01百井、高橋(大塚大))
- 前川、田中(大塚大)○打谷、酒井(東工)▽女子の部(01内山、井川(福島大)、四辻、藤野(東工))
- 山、井上、藤田(天守閣)▽団体(01天守閣(大塚大)△桃山学院△金剛寺△大塚大)

1982.6.8.朝日新聞 朝刊



新体制発足

府大会を終えて、三年生は第一線から退き、クラブの体制は二年生が中心となります。前役員(主将、武田、副将、奥村、助川、会計、末永)に変わって、新主将に辻野、徳男(01)、副将、倉一男(01)、前川、敬広(01)、会計、茂木俊也(01)の各拳士が選ばれました。新主将を全員で盛り立て、新しい大高少林寺拳法部の歴史を前進させよう。